キンカン(金柑) 春の庭仕事の合間に口の中へ



ミカン(蜜柑) 生食用



令和2年 12月5日 第36号

頃。 橘の ○第六十候、小雪、末候、橘始黄(たちばな) 実が緑から黄色へと色づいて熟し始める な

庭にも写真のように は 冬の庭を明るくしてく ので )鮮やかな黄色やオレ 他の庭を見ても橋を見ることはまず はないでしょうか。 は 何種 ニッ 類か植り れるので、 ンジ色の ポ 橘 えてい の別名はヤマ チ 柑 橘類 我が家の ますが ナとい 0 実



ハッサク(八朔) ジャム用

前

ユズ(柚) 料理用

> 夏はたちばな、花はたちばな、 男は次郎長、 唄 茶 かをり~♪

つ きり節 作 作詞、 曲 町田嘉章

月に直 です 橘で おひ て枯 支部はいったい 多いこと多いこと。 井伊家の家紋が○の中に橘の木をあしらっ た家紋は非常に多く 似て橘と桜の木を飾ります。 ようです。 ま 直 そうです。 うす。 大きい れることのないことから、 径 す な様とお 日 ね。 ある 本固 は3cmほどと小さく、非常に酸 径2cmくらいの 「左近の桜」とともにある「右近の橋 橘は、 そして皆さんご存じ、 そういえば、 ため それにちなんで、 いは不老長寿の象徴とされ 有 有名なの 0 内裏様の左右にも紫宸殿を真 その葉が冬でも青々としてい その 種だそうです。 まま食べるのには つあるのでしょうか。 橘会と名付けら 使われてお は、 白 ひな祭りのひな い花を咲か 京都御所は紫 池坊○○橘 橘をデザ 古来、 また、 池坊の家紋 近くで れた池 っぱく、 てきた 永遠 五 インし 反んでな 0 0

### ○師走

のでしょうか、 ことになりそうです。 たんに、なぜか落ち着かなくなってしまいま もう十二月となりました。 今年は三密で始まり三密のまま年を越す はてさて。 この先どうなってい 師走になっ たと

とも か くも あ なたまか せ 0) 年の

小林一茶

十二月を別名で楽しみましょ

極月(ごくげつ、ごくづき)、窮月(きゅうげつ) 一年の最後の月

とう)、三冬月(みふゆづき 季冬(きとう)、窮陰(きゅういん)、晩冬(ばん 旧 暦では冬は十月~十二月。冬の終わり、 さんとうげつ)

## 苦寒(くかん)

冬の三番目の月。

さに苦しむ月。 旧 暦の十二月は現在の一月頃ですから、 寒

梅初月(うめはつづき)、春待月(はるまちづ

春への期 待が込められて ます。 な月



ツバキ(椿)

という日 ています

がこれから多くなってきます。

北の空は真っ暗、

南の空は青空

遊ばれておられ

とよばれる冷たい雨

が降ってきます。

暗な空の下は、雪はまだ降りませんが、

氷ひ 氷の真あっ

ツバキ(椿)

# ○大雪(たいせつ)

です。 うか。 候、 が来て、本格的に雪が降るのは年が明けてかいうことです。実際は年末にクリスマス寒波 小雪が大雪に変わ至までの期間を指します。 勤務地の彦根まで、 空を覆い尽くしてしまいます。私は週に三日 への準備をしなさい、というお知らせでしょ らとなることが多いです。まあ、そろそろ雪 よいよ山だけでなく平野にも雪が降る頃、 十二月七日は大雪です。 初候、 灰色の雲がずっしりと重く垂れ込め、 七十二候も、 閉塞成冬(そらさむくふゆとなる 実際は年末にクリスマス寒波 雪に変わるのですか 七日から大雪は第六十一 湖岸道路を南北に往復し 二十四節気では冬 6 ح V

す。台座

きます。

根元をちょっと吸うと、

○ホトケノザ(仏の座)



ホトケノザ(仏の座)

仏様の台座(蓮座)のように見えることに由来 ているものが出てきました。 の頃、このホトケノザやツツジの蜜を吸って 階建ての屋根に見立てて、名付けられていま ますが、これは葉が段状に付くところから三 高さ10㎝から30㎝くらいになります。 越年草で、秋に芽吹いて冬を越し、 のような葉から花をそっと引き抜 今年の秋は暖かく、 おそらく団塊の世代以上の方は子供 あるいは油断すると畑 サンガイグサ(三階草)ともい たのではないでしょうか。 甘い蜜が舌の先に付 名前は葉の形 もう花を咲 ノザ 春に 入っ 道端

き、

しています。

きます。 やあぜ道、

ウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・ (キク科の多年草)です。 なお、 とい いますが、 春の七草は 七草のホト 七草の 「セリ・ ザ は ホトケ ナズナ・ゴギョ コオニタビラコ んとは別 スズシ

生花正風体(ツルウメ 寒葯) たが なり す。 天井  $\lambda_{\circ}$ い です ました。 に 何とも無粋です。 残念ながら二 頭 から吊るしたい で 何 度も遭 わ か 抜

け

箈

ち

自宅で

は

鉄

0

棒に引

けまし

目

わ

な

VI

と身につか

ない

よう

っ

ても体で

覚えない

と使えま

一番手の

枝を真にすることに

るので

す

ħ

古を重ね

る中で



使い 用されてきたそうです。 オレンジ色の果実が が枇 るところか 木の名前は、 たくさんつ 杷 小さな花が咲き出しました。 ます の木の枝先に、 ら。 こ の 元 々 て ビ 、は薬用 果実が楽器の琵 ワの葉は立華の い 鈴なりになりま ŧ 毛が生えた褐色の す。 植物として栽培 目立ち 六月には 大葉とし 琶に ませ す。 似  $\lambda$ つ て 淡がぼ

もう畑の隅で咲きだした仏の座

V 白 4

いの



すが、

その花材を選び取る

0

はなか

なか

生け

方(型)一割、

技術

割と日頃思ってい

ま

回 は

の稽古に使っています。

花材八割

 $\bigcirc$ 今年

ツ

ル ウ X

モ

۴

キ

0

実

たくさんな

利 て

似がい。

枝

見えて

 $\lambda_{\circ}$ 

撓<sup>たき</sup>め ま

結局は稽古を積み

重ね せ か

な

と型に

合う花

合う

枝

ところで曲 を選んで

げ

7

ポ け

キ た

ッ。 0 ま

節

のところ

ですが、

うっ

は

折 n

やすいからと何度も教えていただい

ビワ(枇杷) の花

本

来夏に

ペリ

力

キ、

オクロ

カ

花咲くヒペリカムの返

り花

冬の花である椿と取り合わせま

た。 おしく

0 オク

D レ

ウ 0

黄色い

花

んが、黄葉しても丈夫なので出番となります。

葉は厚くて広

で日 カは

頃 は

> ま が

せ 咲

立華新風体

生花新風体

イト

· ウ、

ツバキ、

ビバーナム、マツ、

エルヴィラ、

ススキ、

マラヤユキノシタ

_	4	_
---	---	---